

「日本外交の現状と未来」



2015年6月18日

衆議院議員 山口 壯

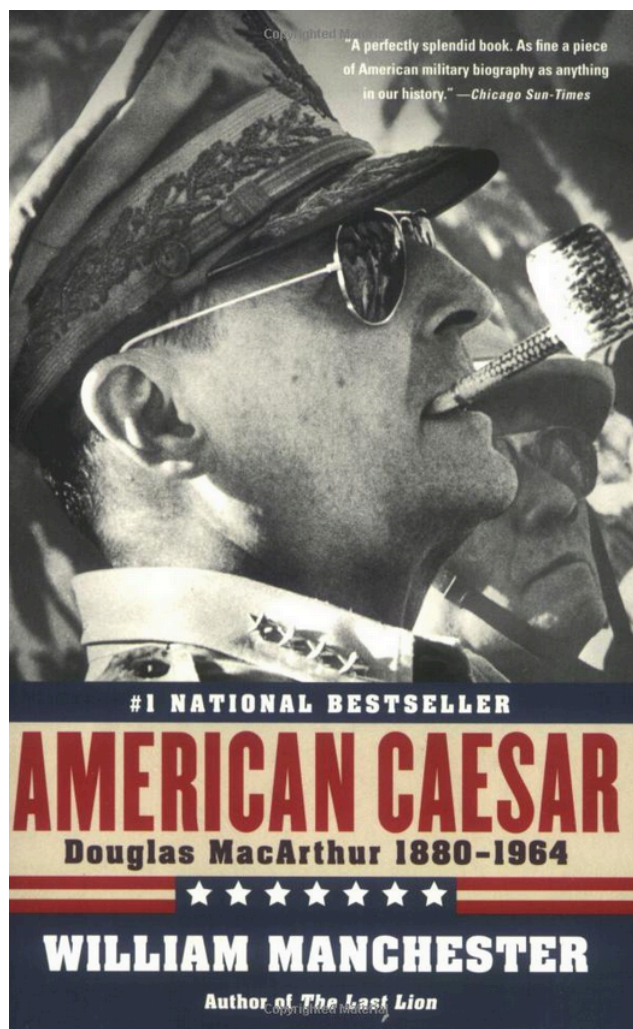
リベラルと保守

- リベラルの立場
 - 人間の理性によって理想社会を作ることができる
「未来はつくることができる」「理想は実現できる」
- 保守の立場
 - 人間の理性によって理想社会を作ることなど不可能
(人間は不完全、歴史感覚に基づいた漸進的改革)

英国のキャメロン首相は、自らを「真にリベラルな保守主義者」
(a truly liberal conservative) と呼ぶ

吉田茂も、「リベラルな保守」

「アメリカン・シーザー」



日米安保条約の由来

- 吉田茂と外務省
 - 野党の口ぶりの如し、無用の議論一顧の値無し
経世家としての見識から再検討を要す。
- 防衛コミットメントの取り付け失敗
 - 1960年の安保改定
 - 安保法制議論の位置づけ
- 統合司令部の拒否
 - 「ガイドライン」

吉田路線の功罪

- 経済重視、池田の所得倍増路線へ
- 国家戦略的発想の貧困

戦後の3つの秩序 アメリカ主導

1. 国際連合体制
2. 自由貿易体制
3. ドル基軸通貨体制

1. 国際連合体制

武力行使の禁止（国連憲章2条4項）

2つの例外

(1) 国連軍(42条)

(2) 自衛権(個別的・集团的)(51条)

2. 自由貿易体制

WTO、ドーハラウンド破綻？ → FTA、TPP等

3. ドル基軸通貨体制

- ✖ 英ケインズによる世界通貨案 「バンコール」
- 米によるドル基軸通貨体制

「流動化」

- アメリカの国力の相対的低下
←アフガン、イラク戦争
- 「Gゼロ」?
- 戦後秩序の機能不全

新しい秩序・システムづくり？

- シーパワーとランドパワー？
→ 中国の挑戦、AIIB

- 「アジア・太平洋共同体」？
→ 日本の役割？

TPP

日中韓自由貿易協定
(北東アジア経済連携)

RCEP

≒ APEC

△中国との対話

- 先ず島と神社

△尖閣諸島問題

- 尖閣の経緯、日中首脳会談の見通し
- 土地勘
 - ←吉田茂「赤くなっても黒くなっても、中国は中国だ」

△靖国神社

- 天皇陛下も参拝できるように
- 東京裁判
→禍福はあざなえる縄のごとし



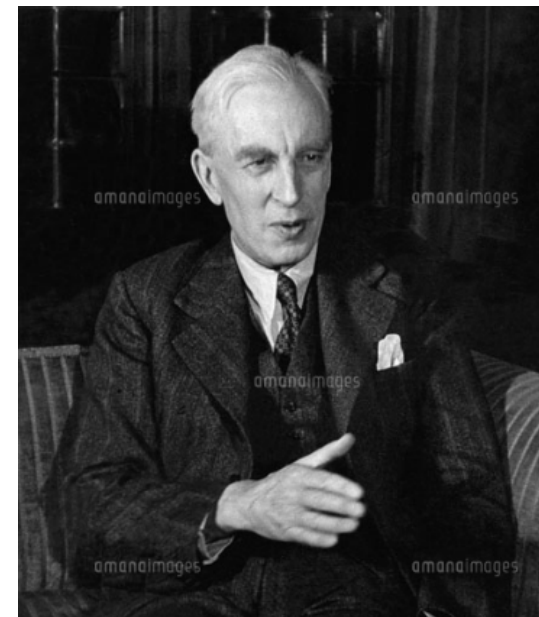
- 乃木神社・東郷神社方式？
- 国立追悼記念施設

△「米軍撤退」は有り得ないか？

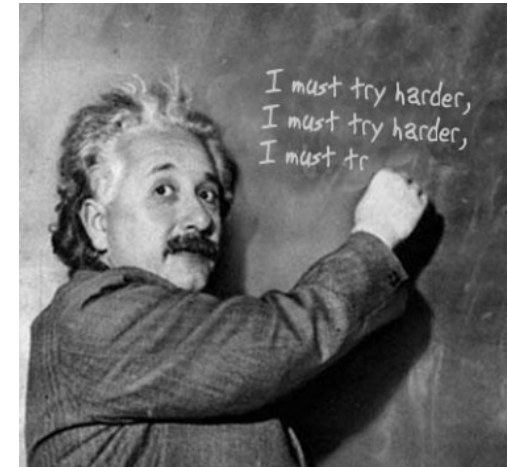
- 旧安保条約締結時の経緯
- アメリカの国力の相対的低下
←アフガン、イラク戦争
- 財政難
- 孤立主義への回帰？

トインビー

西洋から東洋、大西洋から太平洋



アインシュタイン



近代日本の発達ほど、世界を驚かしたものはない。
この驚異的な発展には、他の国と異なる何ものかが
なくてはならない。

果たせるかなこの国の、三千年の歴史がそれであった。
この長い歴史を通して、一系の天皇をいただいているということが、今日の
日本をあらせしめたのである。

私はこのような尊い国が、世界に一カ所位なくてはならないと考えていた。
なぜならば世界の未来は進むだけ進み、その間幾度か戦いは繰り返されて、
最後には戦いに疲れる時がくる。

その時人類はまことの平和を求めて、世界的な盟主を挙げねばならない。
この世界の盟主なるものは、武力や金力ではなく、凡ゆる国の歴史を抜き越
えた、最も古くまた尊い家柄ではなくてはならぬ。

世界の文化はアジアに始まって、アジアに帰る。
それはアジアの高峰、日本に立ち戻らねばならない。

吾々は神に感謝する、吾々に日本という尊い国を、作っておいてくれたことを。

鍵は、新しい産業を興すイノベーション

今日の世界経済の大不況の根本原因

→ 世界的なイノベーションの停滞

日本の経済衰退、財政危機、社会福祉の崩壊の真の原因

→ イノベーションの衰退（三輪、8）

（イノベーション衰退に対する真の解決なしに）金融緩和、消費増税、公共投資だけでは、事態はよくなるどころか悪化

新しい産業を果敢に興し、新しい職場を創り、国民の所得を増大させれば、商品も売れ、価格も上がる。こうしてデフレを止め、国民の所得格差を克服、日本の「人口減少」も緩和（三輪、9）

主導産業 → 覇権

leading industry

- アメリカのイノベーション力？

IT、金融資本も、米国民に十分な職場を与えられていない

- 中国、安い労賃で模倣だけでは、世界の覇権国にはなれない。

国家戦略として

- 国家戦略としてイノベーションを喚起しベンチャー企業を促す環境を本格的に作る必要
- 日本はイノベーションにより新しい主導産業を自分の手で開発し、経済力を強化せねばならない。
- 日本がこれからの世界の経済発展をドライブする主導産業をどんどん開発する。(三輪、332-333)
- 日本の中小企業を含めてこれまで蓄積してきた膨大なものづくり力の技術集積は、世界に貢献できるもの(三輪、252)

魅力ある、ワクワクさせる商品を

- 日本の商品が売れなくなったのは、世界の人にとって魅力がなくなってきたから(三輪、104)

サムスンは「売れる商品がよい液晶」と言い、シャープは「よい液晶は売れる筈」と言う。(三輪、105)

日本産業はこれまで「日本で売れているものは、どこでも売れるはずだ」ということでやってきたが、今やそれは通用しなくなった(三輪、106)

- 円高とか高賃金だけではない。

日本流のイノベーション？

- 日本でやれる主導産業の開発の道はないか？
→ いろいろの要素の新しい結合がイノベーション(三輪、256-257)
- 日本がこれまで蓄積してきた膨大な中小企業の生産技術、ノウハウをデータベース化、イノベーションのプラットフォームに？

「強靱化ファンド」？

- 外為準備金から3兆円？
- 毎年、消費税0.1% → 2千億円？
- イノベーションの具体的プロジェクトに
- 郵貯資金と、中堅企業向けに日本政策投資銀行、中小零細向けに日本政策金融公庫とを連携させ、「強靱化ファンド」の一環としてイノベーションを支える日本の産業金融を異次元レベルに引き上げる

日本外交の中長期目標

- アジア・太平洋共同体的なものを目指し、自由貿易のシステムづくりとともに、信頼醸成措置を構築し武力衝突を予防するシステムづくり、更には、域内における通貨システムづくり。
- 円の国際通貨としての役割を如何に増大できるか？

新たな繁栄のシステムを創造？

更に、グローバルなベースで新しい産業を興し、多くの国民が職場を得て、繁栄する新たなシステムを創造する役割まで日本が果たせるようになりたい

グローバル・ガバナンスの喪失(Gゼロ?) → 再構築の必要

end